

グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド

(追加型投信／内外／株式)

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

みずほ銀行での取扱いインターネットバンキングでのお申込みに限定させていただきます。

お申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等をご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

設定・運用は

MIZUHO みずほ銀行

日興アセットマネジメント

商号等：株式会社みずほ銀行

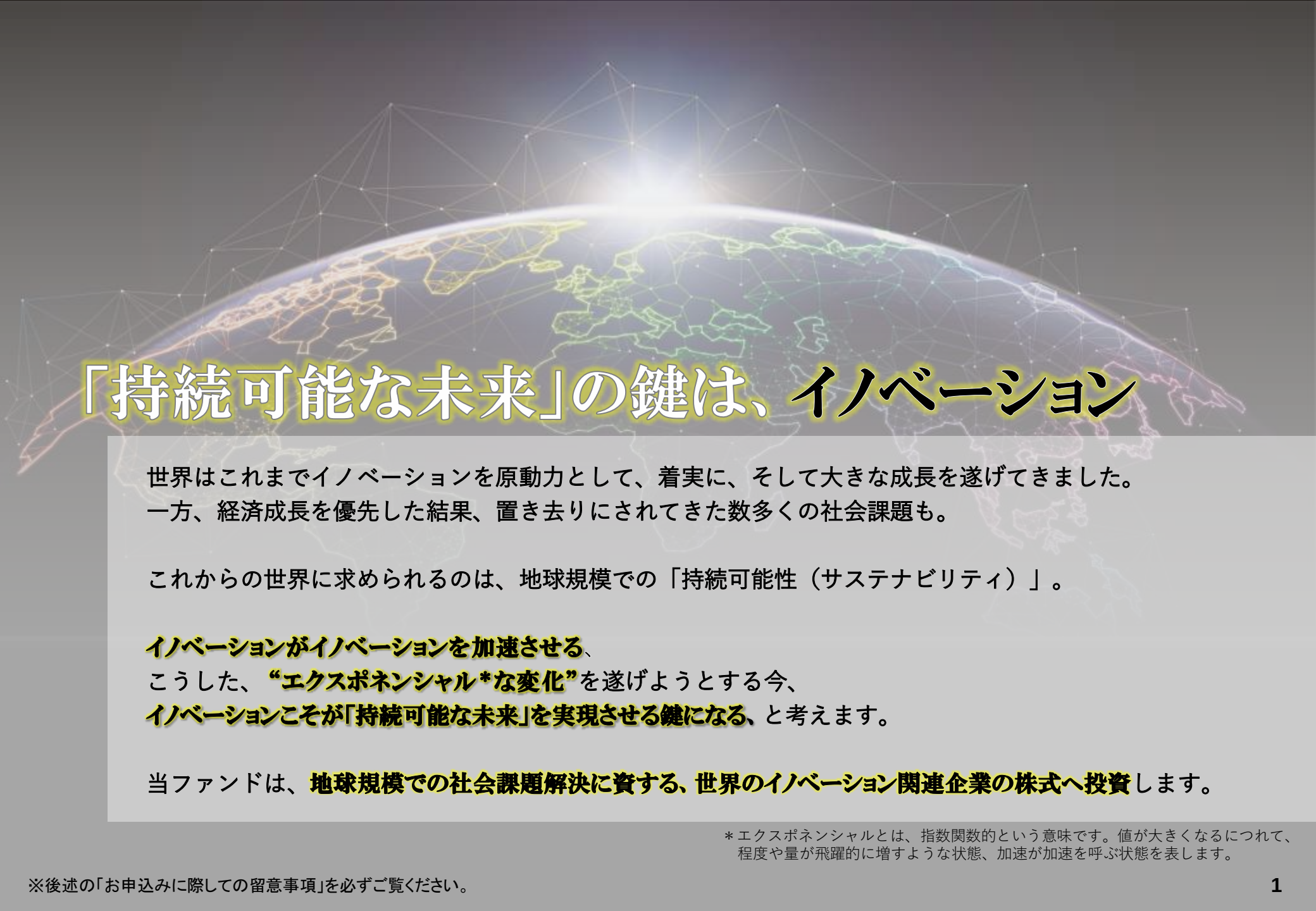
登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号

加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

商号等：日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会



「持続可能な未来」の鍵は、イノベーション

世界はこれまでイノベーションを原動力として、着実に、そして大きな成長を遂げてきました。一方、経済成長を優先した結果、置き去りにされてきた数多くの社会課題も。

これからの世界に求められるのは、地球規模での「持続可能性（サステナビリティ）」。

イノベーションがイノベーションを加速させる、
こうした、“**エクスポネンシャル*な変化**”を遂げようとする今、
イノベーションこそが「持続可能な未来」を実現させる鍵になる、と考えます。

当ファンドは、**地球規模での社会課題解決に資する、世界のイノベーション関連企業の株式へ投資**します。

*エクスポネンシャルとは、指数関数的という意味です。値が大きくなるにつれて、程度や量が飛躍的に増すような状態、加速が加速を呼ぶ状態を表します。

単位:兆国際ドル*

60

50

40

30

20

10

0

時代をけん引してきたイノベーション

1780年～1840年代
蒸気機関・紡績機
(産業革命)

1840年～1890年代
鉄道・鉄鋼

1890年～1940年代
電気工学・化学・自動車

1945年～1990年代
石油化学・コンピューター・原子力・航空宇宙

世界のGDP推移

期間:1820年～2008年

1820 1830 1840 1850 1860 1870 1880 1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 (年)

- イノベーションの時期は、おおよその年代を示したものです。
- 写真はすべてイメージです。
- * 世界のGDP推移の単位は、国際比較のために採用している通貨単位。
各国の通貨を1990年の購買力平価で米ドルに換算したものです。

<世界が直面する数多くの社会課題>

環境破壊

地球温暖化

貧困問題

格差社会

公衆衛生

出所:
Maddison Database 2010,
アンガス・マディソン教授,フローニンゲン大学(オランダ)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

※後述の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。

世界が直面する数多くの社会課題

数多くの社会課題を抱える現在の世界。

近年、課題解決に向けて、パリ協定*1やSDGs*2などの国際的な枠組みが掲げられているものの、

「理念」だけでは解決の糸口の見えない問題も。

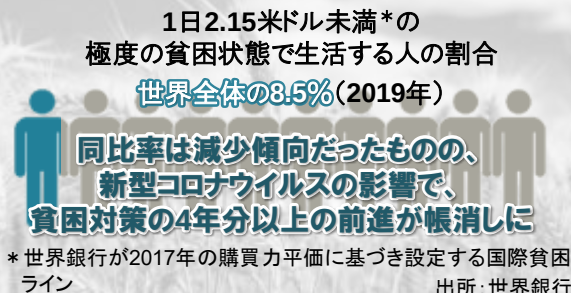
*1 2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み。2015年にパリで開かれた第21回国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で採択。

*2 2030年を達成年限として国連が掲げる、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)

取り組みが
遅れている
社会課題例

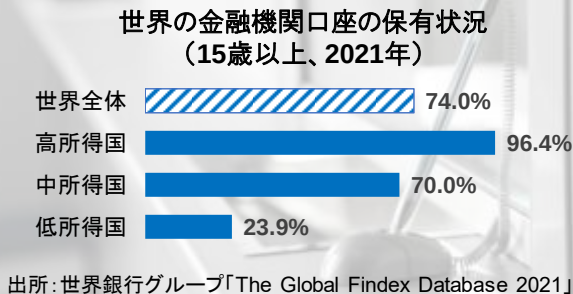
貧困撲滅

世界の1割近くが
極度の貧困状態に



格差解消

金融機関口座の保有率は、
世界的格差が大きい



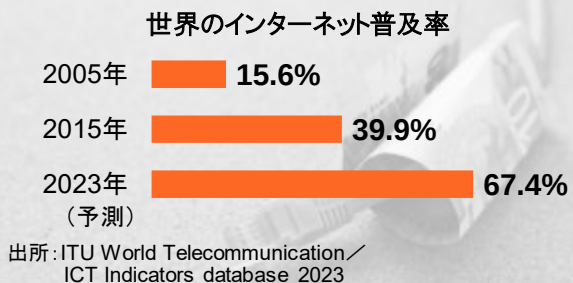
環境問題

海洋の酸性化などが進んでいることから
海洋環境や生態系の保全が急務に



産業・技術の 基盤整備

世界の3割強の人は、
インターネットを利用できていない



●写真はすべてイメージです。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※後述の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。

イノベーションを活用することで、 「課題解決」とともに「成長の果実」の獲得もめざす

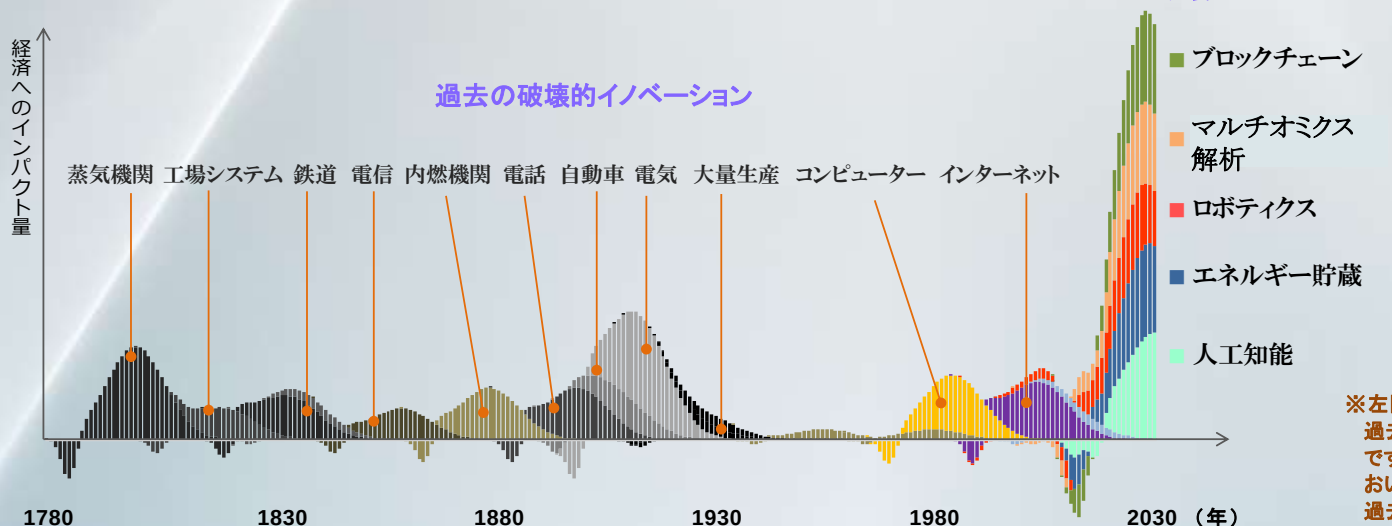
これまで破壊的イノベーションは、
経済に大きなインパクトを与え、世界の産業構造に劇的な変化をもたらしてきました。
そして今、5つの破壊的イノベーション*1が同時進行するという、かつてない状況に

イノベーションによってイノベーションが加速するという「エキスポネンシャル・イノベーション」の流れは、
今まで以上の巨大なインパクトを経済に及ぼすと考えられます。

当ファンドでは、そのインパクトをとらえるべく、イノベーション調査に強みを持つ米ARK*2の力を活用します。

ARKが考える各イノベーションの経済インパクトのイメージ

(試算および予測期間：1780年~2030年)



*1 「破壊的イノベーション」とは、商品やサービスの性能をより高める「持続的(継続的)イノベーション」に対して、既存の技術やノウハウの価値を破壊し、まったく新しい商品やサービスを生み出すものと当ファンドでは定義しています。
後述の「(ご参考)関連用語集」をご確認ください。

*2 ARK(アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー)は、当ファンドの主要投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人に対して投資助言を行いません。

※左図はARKが経済歴史学者の見解なども参考にして独自に算出した、過去と将来におけるイノベーションの相対的な経済インパクトを示したものです。算出にあたってはすべてのイノベーションは投資とその現実化において類似のサイクルおよび期間を要するという前提に基づいています。過去の試算および将来の予測については限定的なものであり、その信頼性を保証するものではありません。

※後述の「お申込みに際しての留意事項」を必ずご覧ください。

出所:ARK

破壊的イノベーションが世界をより良い方向へ導く

現在同時進行中の
5つの
破壊的イノベーション



ロボティクス



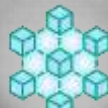
AI
(人工知能)



エネルギー貯蔵



マルチオミクス
解析



ブロックチェーン

※「5つの破壊的イノベーション」については、後述の「(ご参考)関連用語集」もご参照ください。

破壊的イノベーションは、
世界が直面する社会課題にもインパクトを与えようとしています。

そして、破壊的イノベーション投資の専門運用集団であるARKは、
こうした企業こそが飛躍的な成長を遂げ、課題解決にも貢献すると考えます。

そのために必要な視点は、過去の結果ではなく将来を見据えたアプローチ。

「持続可能な未来」に向けて世界が動き出すなかで、
その社会課題解決に不可欠と考えられる破壊的イノベーション企業を、ARKは未来志向の視点で発掘します。

破壊的イノベーション投資の専門運用集団 ARK

ARKが考える破壊的イノベーションの3つの条件

①劇的な生産性の向上をもたらすこと ②急激なコスト低下をもたらすこと ③イノベーション・プラットフォーム*であること

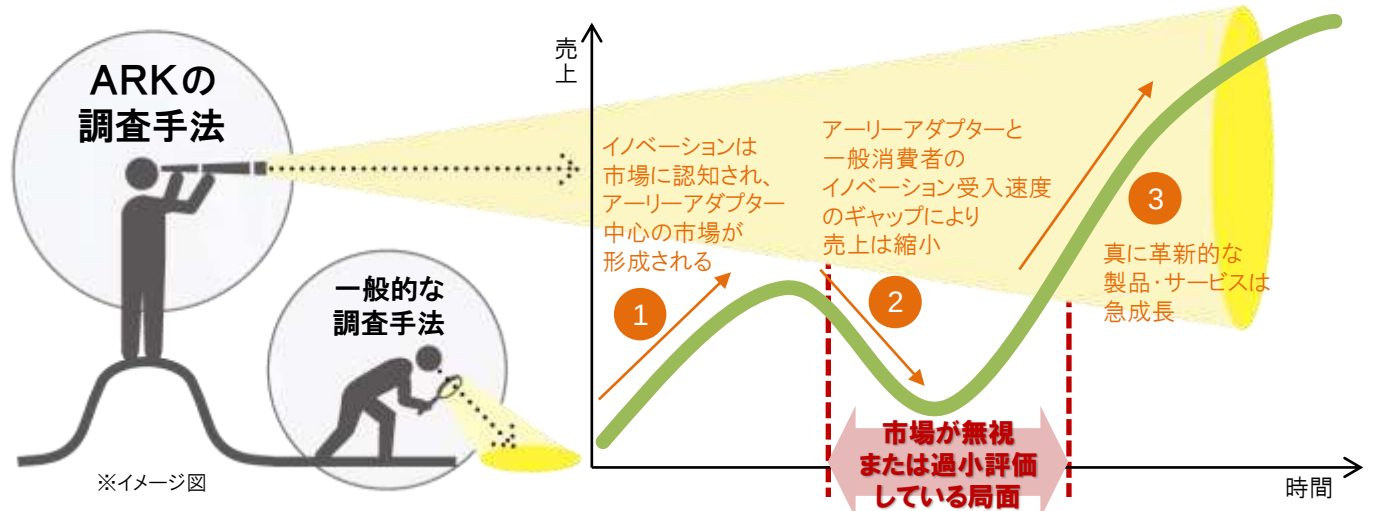
* 他のイノベーションとの融合や、イノベーションの創出を促す
共通基盤となりやすい性質をもつイノベーション



イノベーション投資を専門とするARKの視点

イノベーション浸透のサイクルと、ARKが考える投資タイミング

一般的にイノベーションは、初期段階のアーリーアダプター(新しいものに飛びつく人たち)中心のブームがあり、実際に広く認知されるまでの間には企業の売上が低下するS字の曲線を描く傾向があります。



※イメージ図

足もとの企業業績などをみる一般的な調査手法とは異なり、ARKはイノベーションによる将来の爆発的な成長を予測し、**市場が無視または過小評価している3~5年先の成長機会に着目します。**



Catherine D. Wood

(創業者、CEO/CIO(最高投資責任者))

大手資産運用会社のCIOなどを経て、2014年に、ニューヨークにてARKを創業。エコノミストおよび運用プロフェッショナルとして、テクノロジーが起こす変革の調査を行なう。

ARKの 特徴 ①

イノベーションの発掘を重視したユニークな調査体制

アナリストの担当は、
業種ごとではなく
イノベーションの技術ごとに配置

技術ごとに深掘りできる体制

＜技術例＞

- ・3Dプリンティング
- ・ビッグデータ、機械学習
- ・自動運転
- ・遺伝子治療
- ・生物情報科学

など

銀行や証券会社など金融機関のアナリストは、業種ごとの担当となることが一般的ですが、ARKは違います。イノベーションの発掘には、各技術に精通していることが重要であると考え、イノベーション技術ごとにアナリストを配置しています。

アナリストに重視されるのは、
金融分野での知識や経験年数ではなく
イノベーション技術への造詣と熱意

ユニークな経歴のアナリスト陣

＜アナリストの経歴例＞

- ・機械工学研究者
- ・IT半導体大手などの製造業出身
- ・DNA解析研究者
- ・自動車産業向けコンサル出身
- ・ITベンチャー創業者

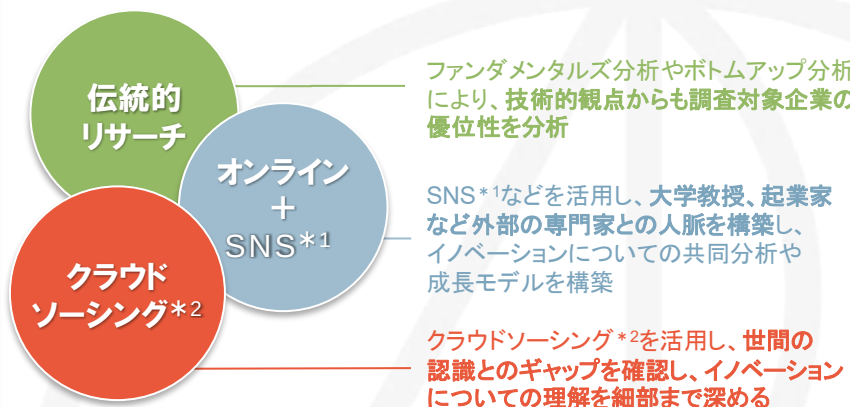
など

ARKのアナリストは、IT企業やベンチャー企業出身者であり、金融出身者は多くありません。こうしたさまざまなバックグラウンドを持つ専門家の知見と人脈により、破壊的イノベーションを見極めます。

ARKの 特徴 ②

従来型にとらわれない独特の調査スタイル

SNS*¹やクラウドソーシング*²も積極活用する
ARKオープン・リサーチ・エコ・システム



*1: ソーシャル・ネットワーキング・サービス

*2: 不特定多数の能力活用(業務委託)、ARKでは不特定多数からのフィードバックという意味で用いています。

ARKは、破壊的イノベーションを発掘するには、伝統的なリサーチ手法だけでは不十分と考えます。

伝統的なリサーチ手法で得た情報をもとに、外部の専門家とディスカッション、共同研究、クラウドソーシングなどを行ない、さらにネット上での批評を取り入れて分析の精度を高めていく「**ARK オープン・リサーチ・エコ・システム**」により、イノベーション技術の知見を深めています。

イノベーションを切り口としたARK独自の銘柄選定プロセス

独自の切り口に基づくARKの銘柄選定プロセスは、トップダウンとボトムアップ双方からのアプローチにより、破壊的イノベーションを生み出す革新的な企業や恩恵を受ける企業を特定する点が、特徴といえます。

大企業であっても、破壊的イノベーションの担い手と見込まれる場合は、企業のライフサイクルにおける「創業期」と判断し、今後の企業価値増大（調査の結果、株価が5年で2倍以上になると期待されるような銘柄）を見込んで、投資に関する助言を行ないます。

<ご参考：ARKの調査・助言プロセス>

トップダウン

イノベーション技術や新たな産業について調査

オンラインやSNS、クラウドソーシングなども駆使します

アイデア 創出



- 破壊的イノベーションや革新技術の抽出

市場規模 推計



- 将来創出される市場規模の推計
- 優位性を持つ企業群の発掘

ボトムアップ

個別企業に対する投資魅力度を調査

伝統的リサーチ手法により、個別銘柄の調査・選定を行ないます

個別銘柄 調査



- 破壊的イノベーションの実現者となる、または恩恵を受けると見込まれる最も魅力的な企業を特定

ポートフォリオ 構築の助言



- 市場の過度な楽観・悲観が引き起こす価格変動を活かしたポートフォリオ管理

ポートフォリオ 管理

ARKでは、市場の急落などによって投資先企業の株価が値下がりした際、目標とする株価の根拠に変化がないと確認できた場合には買い付けを助言します。一方、市場が過度に楽観的になり、投資先企業の株価が目標とする株価を上回った際には、目標とする株価の根拠に変化がなければ、割高と判断して売却を助言します。

※ 上記は2024年4月末現在のプロセスであり、将来変更となる場合があります。



「ARKインパクト・ストラテジー」について

～持続可能な未来の実現という視点でのイノベーション投資～

「社会課題解決」の視点を加えた運用戦略

「ARKインパクト・ストラテジー」は、ARKの従来の銘柄選定プロセスに社会課題解決の視点を追加したものです。

まず、トップダウンでは、社会課題とその解決に資するイノベーションについて調査を行ない、社会課題解決に与えるイノベーションのインパクトを考察します。ボトムアップでは、社会課題解決の視点「ARKインパクト・スコア」を加えた判断指標を用いて企業評価を行ないます。

※当ファンドは、環境や社会のインパクト創出を目的としているものではありません。

銘柄選定プロセスに社会課題解決の視点を取り入れた「ARKインパクト・ストラテジー」



※上記は2024年4月末現在のプロセスであり、将来変更となる場合があります。

世界が取り組むべき社会課題を捕捉

「ARKインパクト・ストラテジー」では、世界が取り組むべき社会課題をとらえるにあたり、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を用います。

SDGsは、貧困をなくし、地球を守り、2030年までにすべての人々が平和と繁栄を享受できるようにするための普遍的な行動を呼びかける目標として提唱され、2015年にすべての国連加盟国によって採択されました。

国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）

SDGsにおける17のゴール

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

SDGs(Sustainable Development Goals)とは、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標です。

2015年の国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意したもので、2030年を達成年限とし、「社会」「経済」「環境」の側面から、17のゴールとそれを細分化した169のターゲットで構成されています。

Sustainable
Development
Goals

国連広報センター、外務省などの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は情報提供目的で掲載しており、国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。

社会課題を解決に導くイノベーションを抽出

ARKでは、イノベーションによるイノベーションの加速(＝エクスポネンシャル・イノベーション)が社会課題を解決に導くと考えています。

「ARKインパクト・ストラテジー」では、同時進行する5つのイノベーション・プラットフォームとその融合によって生まれる14のイノベーションを、社会課題解決へインパクトを与えるイノベーションとして抽出します。

社会課題を解決に導くイノベーションの数々

14の
イノベーション

ニューラル
ネットワーク

暗号資産

精密療法

自律型ロボット

次世代クラウド

スマート・コントラクト

マルチオミクス技術

3D
プリンティング

自動運転

インテリジェント
デバイス

デジタルウォレット

プログラマブル
生物学

再利用可能
ロケット

バッテリー・
システム

5つの
イノベーション・
プラットフォーム



AI
(人工知能)



ブロックチェーン



マルチオミクス
解析



ロボティクス



エネルギー貯蔵

※イノベーションについては、後述の「(ご参考)関連用語集」もご参照ください。

※上記は資料作成時点のものであり、将来変更となる場合があります。

イノベーションが社会課題解決に与えるインパクトを考察

ここでは、ARKが考える、イノベーションによって改善が期待される社会課題例をご紹介します。

イノベーションによって改善が期待される社会課題(例)



AI(人工知能)

ニューラルネットワーク



AIを活用したオンライン教育は、受講者ごとに適した教育サービスをどこからでも受講可能に

＜改善が期待される社会課題例＞

4

質の高い
教育を
みんなに

9

産業と技術
革新の基盤
をつくろう



ブロックチェーン

暗号資産



暗号資産は、仲介者なしでの取引などにより、迅速でより安全な投資や支援を可能に

＜改善が期待される社会課題例＞

10

人や国の
不平等を
なくそう

16

平和と公正
をすべての
人に

デジタルウォレット



デジタルウォレットは、世界で17億人の銀行取引のない人々に取引手段を提供

＜改善が期待される社会課題例＞

10

人や国の
不平等を
なくそう

16

平和と公正
をすべての
人に



マルチオミクス解析

マルチオミクス技術



ゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」によって遺伝子編集が容易となり、慢性疾患などの治療が進む

＜改善が期待される社会課題例＞

3

すべての人
に健康と
福祉を

9

産業と技術
革新の基盤
をつくろう

※各イノベーションによって改善が期待される社会課題例は、上記に限定されるものではありません。また、上記のイノベーション例は、将来の実現等を約束するものではありません。

※国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。 ※イノベーションについては、後述の「(ご参考)関連用語集」もご参照ください。

イノベーションが社会課題解決に与えるインパクトを考察

ここでは、ARKが考える、イノベーションによって改善が期待される社会課題例をご紹介します。

イノベーションによって改善が期待される社会課題(例)

ロボティクス

自律型ロボット



自動化技術は、農業生産性を向上させ、飢餓や貧困を減らすことにつながると期待される

＜改善が期待される社会課題例＞

1

貧困をなくそう

2

飢餓をゼロに

3Dプリンティング



3Dプリンティング技術によって製造された航空機のエンジン部品は、軽量化などによる燃料消費量の削減に寄与

＜改善が期待される社会課題例＞

7

エネルギーをみんなに
そしてグリーンに

13

気候変動に具体的な
対策を

エネルギー貯蔵

自動運転



自動運転は、渋滞や事故の削減につながるとみられ、社会的なコストの削減が健全な経済成長を促すと期待される

＜改善が期待される社会課題例＞

7

エネルギーをみんなに
そしてグリーンに

12

つくる責任
つかう責任

13

気候変動に具体的な
対策を

バッテリー・システム



電力網を、バッテリーなどによる電力備蓄システムに置き換えることで、効率的で持続的な都市運営が可能に

＜改善が期待される社会課題例＞

9

産業と技術
革新の基盤
をつくろう

11

住み
続けられる
まちづくりを

※各イノベーションによって改善が期待される社会課題例は、上記に限定されるものではありません。また、上記のイノベーション例は、将来の実現等を約束するものではありません。
※国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。 ※イノベーションについては、後述の「(ご参考)関連用語集」も参照ください。

社会課題解決の視点を重視したARKインパクト・ストラテジー

個別企業の選定については、「ARKインパクト・スコア」を用いて、投資銘柄の絞り込みを行ないます。その上で、「企業」や「株価」の視点も加味し、ポートフォリオを構築します。

世界が抱える社会課題をとらえるにあたっては、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)を用います。

イノベーションと課題解決の指標を、「社会課題解決」「企業」「株価」の視点で判断

＜ARKインパクト・ストラテジーにおける個別銘柄の判断指標＞

社会課題解決の視点からみる指標

ARKインパクト・スコア



イノベーション企業をみる指標

会社・人・文化

業界における
リーダーシップ

ビジネス遂行力

期待できる
株価リターン

当該技術の参入障壁

前提が崩れるリスク

＜ARKスコアリングにおける判断比重＞

社会課題解決の視点

ARKインパクト・スコア

企業の視点

会社・人・文化

当該技術の
参入障壁

ビジネス遂行力

業界における
リーダーシップ

株価の視点

期待できる
株価リターン

前提が崩れる
リスク

※上記は2024年4月末現在のプロセスであり、将来変更となる場合があります。

「ARKインパクト・スコア」により、独自の視点で企業を評価

「ARKインパクト・ストラテジー」では、企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルが、社会課題解決の達成にどの程度寄与するかを測るARKの独自指標である「ARKインパクト・スコア」を用いて、イノベーションと社会課題解決の両面から、個別企業の投資魅力を判断します。

当ファンドが投資する「日興AM ARKポジティブ・チェンジ・イノベーション・ファンド」では、1から10までの10段階で評価され、スコアが7以上の銘柄で構成されます。また、アーク社が投資銘柄のスコアを6以下と評価した場合には、運用者である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクが最終判断をし、当該銘柄を売却します。

※当ファンドは、環境や社会のインパクト創出を目的としているものではありません。

企業レベルで、イノベーションの寄与度と社会課題解決のインパクトを判断

ARKインパクト・スコアの決定プロセス

ARKインパクト・スコアは、破壊的イノベーション関連企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルが、社会課題解決の達成にどの程度寄与するかを測るアーク社の独自指標

イノベーションの 社会課題解決への インパクトを考察



イノベーションからのアプローチ（トップダウン）に基づき、各イノベーションが社会課題解決に及ぼす影響度合いを考察する

企業の イノベーションへの エクスポージャーを測定



企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルがどのイノベーションに、どの程度関連しているものなのか、エクスポージャー（関与度合い）を測定する

企業の製品・サービスなどと 社会課題解決との 整合性を評価



企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルが社会課題解決に、どの程度影響を与えるかを評価する

ARK
インパクト・スコア
決定

※上記は2024年4月末現在のプロセスであり、将来変更となる場合があります。

組入上位銘柄のご紹介①（2024年10月末現在）

テスラ(米国)

世界有数のEV(電気自動車)メーカー



ARKの視点

EVや自動運転技術を軸に、社会的インパクトの創出を期待

【イノベーション企業としての注目点】

- ✓ EVおよび自動運転技術における世界のトッププレーヤーである同社は、化石燃料による二酸化炭素排出量を削減し、温暖化を防ぐための重要な技術を有していると考えています。
- ✓ ARKでは、EV用バッテリーや自動運転データ収集などで競合他社を先行する点が強みであるほか、定置型エネルギー貯蔵やソーラールーフ事業は送配電網への電力供給を促進できるとみています。



●写真はイメージです。

関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果

3

すべての人に
健康と
福祉を

＜期待される効果＞

EVや自動運転技術の発達により、**車両事故率の低減**とともに、**大気汚染に関連する疾患が減少**。

7

エネルギーを
みんなに
そしてクリーンに

＜期待される効果＞

同社の低価格帯モデルEVは、米国の自動車の平均取引価格より安価であり、新たな顧客層への利用拡大や**EV普及の加速が見込まれる**。
また、EVや自動運転タクシーの普及により、**石油需要が減少し、環境改善につながる**。

13

気候変動に
具体的な
対策を

11

住み
続けられる
まちづくりを

＜期待される効果＞

EVは**走行コストがガソリンよりも大幅に低下する可能性**。また、同社の「ソーラールーフ」は、より**安価でクリーンな発電手段として住宅に提供できる**。

※国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の実質的な銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は、資料作成時点におけるARKの見方あるいは考え方などをもとに作成したものです。また、「関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果」は、一部の場合があります、このほかにも関連するSDGs目標例がある場合があります。将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

組入上位銘柄のご紹介②(2024年10月末現在)

コインベース・グローバル(米国)

米国を代表する暗号資産取引所の一つ



ARKの視点

暗号資産がもたらす革新的変化の恩恵が見込まれる

【イノベーション企業としての注目点】

- ✓ 暗号資産は、従来の中央集権型の管理手法とは異なるブロックチェーン(分散型台帳)技術を用いた価値の貯蔵や移転を可能にしました。オープンな台帳技術は、世界の金融市場や金融機関の透明性を改善させることで不平等を是正し、経済成長を促進させることができると期待されます。
- ✓ 同社は、使いやすいサービスを提供することで障壁を下げ、エコシステム*全体でユーザーの関心を高めることに重点を置いています。

*業種や規模などの垣根を越えて協力し合い、企業間などで連携すること



●写真はイメージです。

※国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。

関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果

1
貧困を
なくそう

10
人や国の
不平等を
なくそう

<期待される効果>

銀行口座を持たない人々や銀行サービスを受けられない人々に金融サービスへのアクセスを提供することで**不平等を是正できる可能性**。

8
働きがいも
経済成長も

<期待される効果>

ブロックチェーン開発、暗号技術、その他関連分野において**イノベーションの促進、雇用創出や経済成長に貢献**。

16
平和と公正
をすべての
人に

<期待される効果>

取引記録の改ざんを不可能にすることで、汚職やマネーロンダリング、詐欺などの防止に貢献し、**金融取引やガバナンスにおける透明性向上につながる**。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の実質的な銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は、資料作成時点におけるARKの見方あるいは考え方などをもとに作成したものです。また、「関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果」は、一部の場合があります、このほかにも関連するSDGs目標例がある場合があります。将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

組入上位銘柄のご紹介③（2024年10月末現在）

ブロック旧スクエア（米国）

利便性の高い決済システムを強みに、事業展開する決済サービス大手



ARKの視点

デジタルウォレットが社会課題解決を後押し

【イノベーション企業としての注目点】

- ✓ デジタルウォレットは、オンラインを中心としたサービス展開であることから、顧客獲得コストが低く、年齢や性別、地域、所得などを問わず、幅広い層への金融サービスを提供可能にする重要なプラットフォームであると考えています。
- ✓ 同社の決済アプリ「キャッシュ・アップ」は、銀行口座に代わる総合的な金融サービスの提供をめざしており、デビットカードや国内送金、預金口座、国際送金、融資、株式投資、ビットコイン投資なども扱っています。



●写真はイメージです。

※国際連合は当ファンドの運用等について一切関与しておらず、いかなる責任も負うものではありません。

関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果

1
貧困を
なくそう

＜期待される効果＞

金融サービスへの平等なアクセスにより、金融取引などが困難だった層に利用機会を与えるほか、経済活動に参加できる決済ソリューションを提供し、**貧困削減に貢献**。

8
働きがいも
経済成長も

＜期待される効果＞

決済処理や融資サービスを通じて**中小企業や地域企業を支援すること**で、間接的に雇用の創出や**経済成長に貢献**。

10
人や国の
不平等を
なくそう

＜期待される効果＞

小規模事業者に金融決済サービスなどを提供することで、**大企業との効果的な競争が可能となり、経済格差の是正につながる**。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の実質的な銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は、資料作成時点におけるARKの見方あるいは考え方などをもとに作成したものです。また、「関連するSDGs目標例とイノベーションに期待される効果」は、一部の場合があります。このほかにも関連するSDGs目標例がある場合があります。将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

ファンドの特色

1

主に、世界の上場株式の中から、社会課題解決への寄与が期待される破壊的イノベーション関連企業の株式*を実質的な投資対象とします。

* 預託証券を含みます。

- 当ファンドでは、SDGs(持続可能な開発目標)を社会課題としてとらえ、銘柄選定を行ないます。
- 破壊的イノベーション関連企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルが社会課題解決の達成にどの程度寄与するかを測る「ARKインパクト・スコア」を用いて、個別企業の投資魅力を判断します。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

- 「破壊的イノベーション」とは、商品やサービスの性能をより高める「持続的(継続的)イノベーション」に対して、既存の技術やノウハウの価値を破壊し、まったく新しい商品やサービスを生み出すものと当ファンドでは定義しています。
- 「SDGs」とは、2015年の国連サミットで全ての加盟国が合意した、持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標です。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットで構成されています。

2

個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクが当ファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKポジティブ・チェンジ・イノベーション・ファンド クラスP」の運用を行ないます。

3

年1回、決算を行ないます。

- 毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

●市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

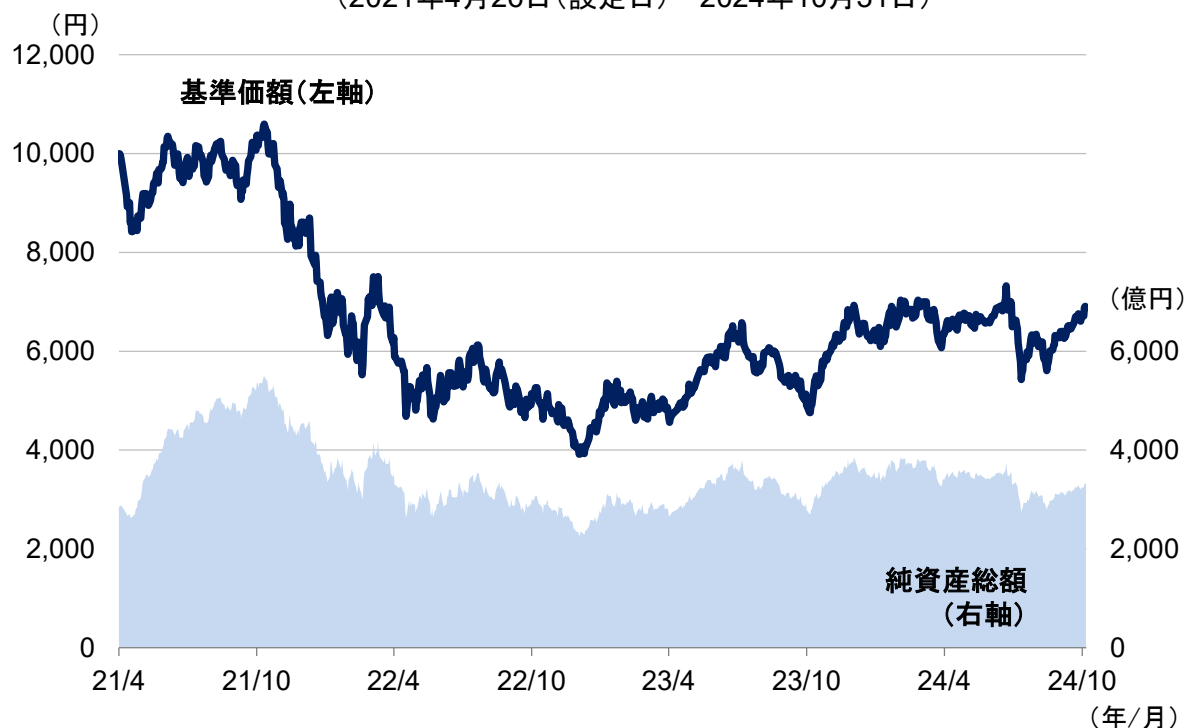
● 当ファンドは「ESG投信」です

- 当ファンドは、全ての組入銘柄の選定においてESGを主要な要素としており、日興アセットマネジメントが「金融商品取引業者等向けの総合的な監督指針」を踏まえて定めた「ESG投信」です。
- 破壊的イノベーション関連企業の技術、製品・サービスやビジネスモデルが、社会課題解決の達成にどの程度寄与するかを測る「ARKインパクト・スコア」を用いて銘柄選定を行ないます。
※詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

基準価額の推移

【基準価額と純資産総額の推移】

(2021年4月26日(設定日)～2024年10月31日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※上記グラフ期間において、分配金実績はありません。

2024年10月31日現在

基準価額

6,879円

純資産総額

3,309億円

【基準価額の騰落率】

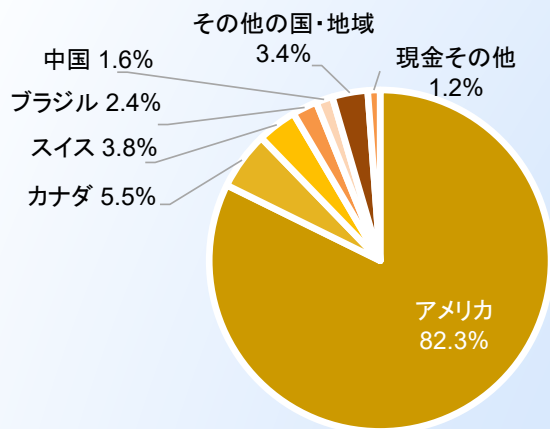
(2024年10月31日現在)

3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
5.5%	3.9%	44.6%	-33.4%	-31.2%

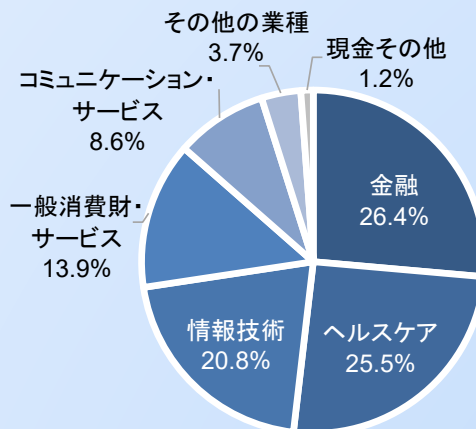
※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ポートフォリオ概要(2024年10月末現在)

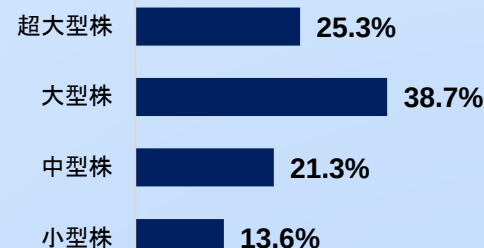
国・地域別比率



業種別比率



規模別比率



- ・超大型株: 時価総額500億米ドル以上
- ・大型株: 同100億米ドル以上500億米ドル未満
- ・中型株: 同20億米ドル以上100億米ドル未満
- ・小型株: 同20億米ドル未満

構成上位銘柄

(銘柄数: 55銘柄)

	銘柄名	国・地域名	業種	組入比率
1	テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	9.2%
2	コインベース・グローバル	アメリカ	金融	7.3%
3	ブロック	アメリカ	金融	7.1%
4	ロビンフッド・マーケット	アメリカ	金融	6.2%
5	ショッピファイ	カナダ	情報技術	4.2%
6	ロク	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.1%
7	CRISPRセラピューティクス	スイス	ヘルスケア	2.9%
8	トリンブル	アメリカ	情報技術	2.8%
9	ツイスト・バイオサイエンス	アメリカ	ヘルスケア	2.6%
10	メルカドリブレ	アメリカ	一般消費財・サービス	2.5%

- 当ファンドの主要投資対象である「日興AM ARKポジティブ・チェンジ・イノベーション・ファンドクラスP 円建投資証券」の内容です。

※日興AMルクセンブルグ・エス・エイより提供された情報です。

※比率は、上記円建投資証券の純資産総額比です。

※数値は、端数処理や現金部分があるため合計が100%とならない場合があります。

※業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類を用いています。

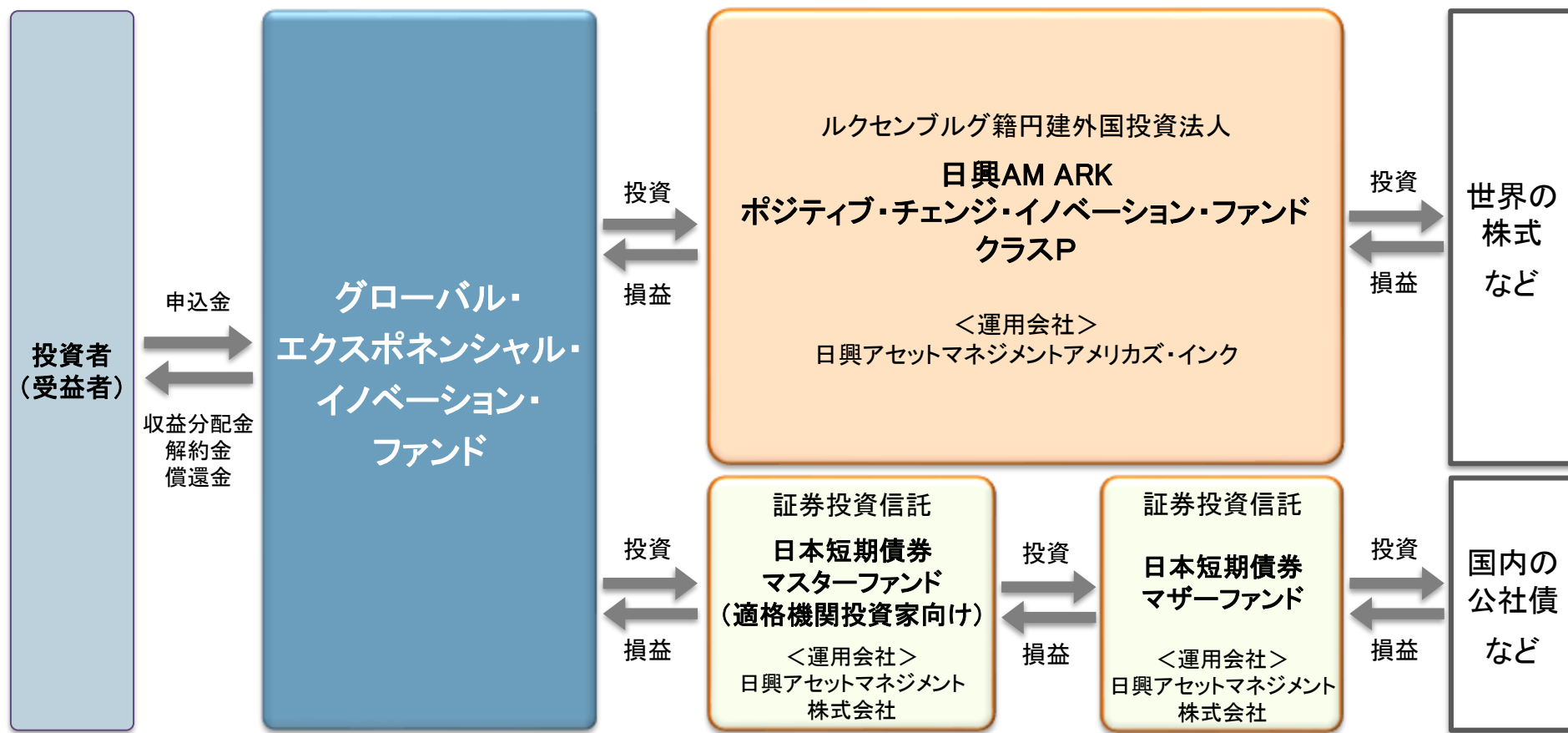
※銘柄名は、信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※左記は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。



(ご参考)関連用語集

AI(人工知能) (Artificial Intelligence)	コンピューターに推論、認識、判断などの知的行動(人間の脳の役割)を行なわせる技術です。蓄積した多くの知識(データ)から、適切な結果を出す仕組みで、翻訳や顔認識、情報検索などに活用されています。
ニューラルネットワーク	人間の脳内にある神経細胞(ニューロン)とそのつながりなどを数式的モデルで表現したものです。機械学習や深層学習(ディープラーニング)などにおける基礎的な仕組みとなっています。
次世代クラウド	クラウドとは、サーバーやデータベースなどのコンピューティング・サービスをインターネット(クラウド)経由で利用することです。次世代クラウドとは、これをさらに進化したもの、または新しいクラウドの開発などを指します。
インテリジェントデバイス	インターネットに接続された機器や装置を指し、パソコン、タブレットや家電製品、自動車、医療機器など、モバイルデバイスも含み、より多岐に亘ります。AIを搭載した機器は、高度な技術を用いて情報処理や状況判断を人間に代わって実行します。
ブロックチェーン	分散型台帳技術と呼ばれ、データをブロックと呼ばれる塊に分け、ブロック同士を連鎖(チェーン)させて記録する手法です。データは複数のサーバーで分散保持され、相互に検証されることで改ざんに強く、また、一部のサーバーが故障したり、不正侵入されたりしても、その他のサーバーが正確性を担保する仕組みをもっています。
スマート・コントラクト	ブロックチェーン上での契約のことです。決められた条件を満たせば、自動的に契約や取引が実行されるため、契約書の作成や締結、履行などのさまざまなステップに係る時間の短縮、コストの削減などを可能にします。
マルチオミクス解析	「研究対象+オミクス」は、生物学の研究分野を意味する呼称とされています。マルチオミクス解析とは、ゲノミクス(遺伝子を扱う生物学)に加え、プロテオミクス(タンパク質を扱う生物学)、エピジェネティクス(後成遺伝学)など、そうした複数のオミクス(マルチオミクス)に跨いで行われる解析を指します。
精密療法	症状ではなく、病気の根本原因を解決するためにCRISPR遺伝子編集などを用いた新しい治療法です。従来の治療法よりも早く進められ、且つ費用対効果も期待できます。
マルチオミクス技術	さまざまな生物学研究分野(マルチオミクス)技術のことです。マルチオミクス技術を駆使することで、がんの早期発見やより正確な治療目標、継続的な再発のモニタリングなどの向上に役立てることができます。
プログラマブル生物学	プログラム可能な生物学を指します。AIツールやゲノム合成技術などを組み合わせることで、新しい生物学的構造体を安価に作成できるようになり、農業や材料科学をけん引することが期待されます。
ロボティクス	従来のロボット技術に、多くのデータをAIなどで処理した結果を加え、より高度な作業を行なわせる技術です。単体のロボットだけでなく複数のロボット、さらには工場の生産ラインを総括するなど、活用の幅は広がっています。
3Dプリンティング	CADやCGなどのソフトウェアで作成された3次元データをもとに断面形状を積層し、立体造形することができる機器(3Dプリンター)を活用した技術です。納期の大幅短縮や従来困難だった複雑な形状の生成などが可能となりました。
エネルギー貯蔵	いわゆるバッテリー(蓄電池)の技術です。電力などのエネルギーを物理的に保存し、時間差をつけて利用する技術は、モバイル機器や電気自動車に限らず、幅広い産業においてエネルギー利用の効率化に大きく役立っています。

※上記は一般論であり、実際には記載された事項と異なる場合や、記載以外の事項がある場合がありますので、あくまで参考情報としてご覧ください。

信頼できると判断した情報をもとに
日興アセットマネジメントが作成

お申込みに際しての留意事項①

●リスク情報

投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆さまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク	●株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。 ●新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。 ●公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
流動性リスク	●市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。 ●新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

(次頁に続きます)

お申込みに際しての留意事項②

(前頁より続きます)

信用リスク	●投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。 ●公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
為替変動リスク	●外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。 ●一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。
カントリー・リスク	●投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。 ●一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
ESG投資に関するリスク	●ESG特性を重視して投資を行なうため、ファンドの基準価額の値動きは市場全体の値動きと異なる場合があります。その結果、ファンドの基準価額は大きく変動する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お申込みに際しての留意事項③



●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆さまに「グローバル・エクスポネンシャル・イノベーション・ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、法令にもとづく開示資料ではありません。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 当ファンドの運用プロセスにて定める「ARKインパクト・スコア」の評価基準を満たす銘柄が著しく減少した場合などには、運用プロセス自体を見直すことがあります。その際、暫定的に運用プロセスを遵守できなくなる可能性や当ファンドが想定するパフォーマンスと異なる可能性があります。
- 当ファンドの運用プロセスにおいてESG評価機関などから提供されるデータを活用する場合がありますが、当該データは投資対象となる企業の情報開示が不十分などの理由により完全性・即時性を確保できないことがあります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆さまに帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書等を販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

お申込みメモ（みずほ銀行でお申込みの場合）①



商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	[分配金受取コース] [分配金再投資コース] ・みずほダイレクト[インターネットバンキング]: 1万円以上1円単位 ・みずほ積立投信: 1千円以上1千円単位(※) (※) 分配金再投資コースのみ
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2021年4月26日設定）
繰上償還	次のいずれかの場合等には、繰上償還することがあります。 ・ファンドの純資産総額が10億円を下回ることとなった場合 ・繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年4月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回、分配方針に基づいて分配を行ないます。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

（次頁に続きます）

お申込みメモ（みずほ銀行でお申込みの場合）②

（前頁より続きます）

換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※ 配当控除の適用はありません。 ※ 益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要（みずほ銀行でお申込みの場合）

投資者の皆さまには、以下の費用をご負担いただきます。

< 申込時、換金時にご負担いただく費用 >

購入時手数料	みずほ銀行における購入時手数料率は、購入申込代金に応じて、以下のように変わります。	
	購入申込代金	購入時手数料率
	1億円未満	1.650%(税抜1.50%)
	1億円以上3億円未満	0.825%(税抜0.75%)
	3億円以上	0.275%(税抜0.25%)
※購入申込代金とは、購入申込時の支払総額をいい、購入申込金額に購入時手数料および当該購入時手数料に対する消費税等相当額を加算した金額です。		
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供、ならびに購入に関する事務コストの対価です。		
換金手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	

< 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.6675%(税抜1.58%)以内が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.9625%(税抜0.875%)、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率0.705%以内となります。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆さまにご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人



委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	株式会社みずほ銀行 他

■照会先

日興アセットマネジメント株式会社

〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

〔ホームページ〕www.nikkoam.com/







